ユニ・ブロック

NIKKO UNI BLOCK

■NT鋼製裏込め材

仕　様

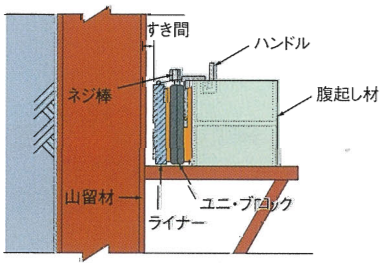
■本体

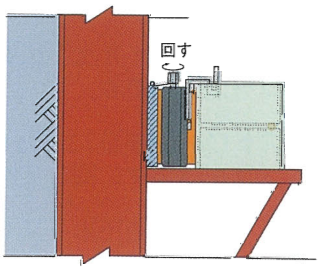
型　　式			BFB30	BFB40
適応する腹起こし材			H250,H300,H350	H400,H500
重　　量		kg	9.5	13.5
寸法	長さ×幅	mm	312×115	380×150
	厚さ(ストローク)	mm	60～95(35)	65～105(40)
	全長(含ハンドル)	mm	385	470
強度	許容荷	KN	400	600
	比例弾性限	KN	650	950
	破断荷	KN	850以上	1200以上
ラチェット		mm	22	22
主要部材質			鋳鋼・高張力鋼	鋳鋼・高張力鋼

■ライナー

型　　式		BFB-30L（A）	BFB-40L（A）
寸　　法	mm	250×110×ｔ15	330×122×ｔ15
重　　量	kg	0.6	0.9
主要部質		硬質塩化ビニール	硬質塩化ビニール

ユニ・ブロックの取扱方法





1.ユニ・ブロック挿入

ユニ・ブロックを腹起し材と山留材との間に挿入し、ハンドルをフランジに引掛ける。この時すき間30mm以上ある場合はライナーを挿入し、間詰めする。ライナー付属のひもは、ユニ・ブロックのネジ棒に引掛けておく

2.ユニ・ブロックセット完了

ユニブロックのネジ棒をインパクトレンチ(平径22mm)などで右へ回し、山留材とのすき間をうめる

⚠ユニ・ブロック取扱注意点

1. 腹起し材と山留材とのすき間が極端に広い場合、ユニ・ブロックを2個重ねて使用しますと落下の原因となり、大変危険です。この場合、山留材又は腹起し材に間詰めのプレート等を取り付ける等して対処して下さい。
2. ユニ・ブロックに砂や泥、コンクリート等付着させないで下さい。ネジ棒が回らなくなり解体できなくなる事があります。
3. 投げたり落としたりしないで下さい。故障の原因となります。
4. 付近で溶接・ガス等の火気を使用しないで下さい。ゴムカバーが破れ、その場所から砂等が入り込み、2と同様になる事があります。